

投資事業評価調書 (新規)

課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 西川昌一 (釜谷正博)	内線	4459 (4467)
-----	-----	---------------------	---------------------	----	----------------

事業種目	急傾斜地崩壊対策事業	事業名	事業区間	総事業費	約 1.3 億円
		急傾斜地崩壊対策事業 < 井ノ谷(2)地区 >	飾磨郡 家島町 真浦		
所在地				着工予定年度	完成予定年度
飾磨郡 家島町 真浦				H13年度	H15年度
事業目的			事業内容		
防災対策 急傾斜地崩壊危険箇所であり、斜面崩壊による危険性が高いため、防災対策工事を行い、地域住民の生命及び防災会館他を保護する。			急傾斜地崩壊対策事業(防災工事) 特殊法枠工 擁壁工 L = 110m A = 2,200m <sup>2</sup>		
評価視点					
(1) 必要性 安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> <li>急傾斜地崩壊危険箇所である。</li> <li>保全人家13戸、宮派出所、家島診療所、宮防災会館及び県道宮真浦線がある。</li> <li>昭和51年崩壊が発生し、現在も風化が進行し表土肌落ちが発生するなど、斜面は不安定な状況である。</li> </ul>				
快適性・ゆとり	<ul style="list-style-type: none"> <li>家島の玄関口である家島港に面した緑の斜面は、港町の穏やかな景観を構成するもので保全効果は高い</li> </ul>				
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>人家裏の斜面には、過去の崩壊跡また表土肌落ちが見られるなど潜在する崩壊の危険性は高く、地元要望が強い。</li> <li>離島振興地域であり、当事業により生活環境の向上が図れる。</li> </ul>				
(2) 有効性・効率性 有効性 効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>保全対象に人家の他、宮派出所、家島町診療所、宮防災会館、県道宮真浦線があり事業効果は大変高い。</li> <li>事業実施に向け、要望書が提出されている。</li> </ul>				
(3) 環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法枠工を採用し、枠内は種子吹き付けを行い緑化を図る。</li> <li>待受擁壁工は、化粧型枠を採用し、より自然に近い雰囲気にする。また、ツタ等による緑化を検討する。</li> <li>斜面を補強することにより、港に面した良好な緑を保全できる。</li> </ul>				
(4) 優先性	<ul style="list-style-type: none"> <li>保全対象に人家13戸、派出所、診療所、防災会館、県道があり事業効果は高い。</li> <li>防災上重要な施設が多く、過去に災害があり、表土風化が進行していることから、次期崩壊に備え、早急な防災対策が必要である。</li> <li>要望書も提出されており、事業執行体制は整っている。</li> </ul>				
評価の結果	着手妥当	左の理由	審査の結果、事業着手が妥当と認められた。		